令和７年度　江戸川区立鹿骨東小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	〇思いやりのある子・・・互いの人格を尊重し、心豊かな子　自己肯定感の高い子の育成 〇健康で明るい子・・・安全で健康な生活を心がけ、体力のある子の育成 〇よく考えくふうする子・・・自ら学び、深く考える子の育成 〇ねばり強くやりぬく子・・・目標をもち、最後までやり遂げる子の育成		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	〇　笑顔があふれる学校…児童が学ぶ楽しさが味わえ、成長を実感できる学校、保護者や地域にとって、誇りと信頼がもてる学校、教職員が教育者として喜びが味わえる学校を目指します。 〇　元気で活力ある学校…児童が健康・安全・安心にすごせる環境作りと体力向上を目指します。 〇　創造力のあふれる学校…児童も教職員も学ぶ意欲と創造力をもち、課題に挑む学校を目指します。
前年度までの本校の現状	成果	江戸川区教育課題実践推進校として教育課題「魅力ある学校づくり」に取り組み、不登校児童の減少や児童の学習意欲を向上させることができた。また、PTA、おやじの会、図書ボランティア、グリーンボランティア、登校見守り、鹿骨東小学校ふるさと学習などについて地域や保護者と連携した教育活動を展開し、協働することができた。教育課程全般において、学校評議員・地域関係者・保護者等からおおむね理解を得ることができた。	課題	児童は自己肯定感が高く、やる気や意欲はあり、全国学力調査の結果もＣＤ層は令和元年度80％代から60％代まで減った。しかし、正答率は都の平均より10（国語）～１２（算数）ポイントほど低い。診断テストの結果などを分析し、児童一人一人のつまずきを克服しながら、「一人も取り残さない」学力向上を目指していく。また、昨年度、学校図書館の活用に対する数値目標が達成できていないため、図書を使った調べる学習の充実を図る。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	＜学力の向上＞ 〇「江戸川っ子study week!」の実施・改善や、学力定着度調査の実施・分析や、補習の実施などによる指導の充実	・放課後学習の実施…４～6年生(３０回) ・各学期に東京ベーシックドリル診断テストまたは、江戸川区学力定着度調査の実施及び結果を受けての指導の工夫の検討・実践 ・「江戸川っ子study week!」（家庭学習期間）の実施：年３回	・２年生以上の東京ベーシックドリル診断テスト、江戸川区学力定着度調査の平均正答率が、７０％以上または、１学期より５％アップ											
	〇外国語活動・外国語学習の充実	・４年生の社会科見学でTGGを利用。 ・校内でGTTトライアル授業（出前授業）実施 ・ハローマスターの実施 ・外国語講師のによる授業の充実	・児童アンケートで外国語活動や学習に対して肯定的な回等８割											
	〇読書科の更なる充実	・図書館を活用した探究的学習を取り入れた授業…各学期１回以上（１２時間以上） ・図書館スーパーバイザー、図書ボランティアの活用による学校図書館の整備の推進 ・図書館を使った調べる学習コンクールの参加 ・巡回指導員との連携	・児童アンケートで学校図書館の利用に肯定的な回答８割 ・３年生以上で調べる学習コンクールへの参加８割											
	〇ICTの活用	・タブレットやオンラインドリルを授業や家庭学習で活用 ・教員向けのICT研修	・児童アンケートでICTの活用に肯定的な回答９割											
体力向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞ 〇体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・学期に1回のなわ跳びチャレンジウィーク（なわ跳びマスター）の設定 ・江戸川っ子なわ跳び出前授業の実施	・なわ跳びに取り組む児童９割											
		・長縄集会…年２回	・児童アンケートで運動に肯定的な回答９割											
共生社会の実現に向けた教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ 〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導教員や特別支援教室専門員・ＳＣ・心理士・日本語指導員の活用、担任との連携…各学期授業参観・適時 ・授業のユニバーサルデザイン化の推進 ・個別の教育支援計画・個別指導計画の作成と活用	・児童アンケートで学校生活に肯定的な回答８割 ・学級崩壊なし											
	・エンカレッジルームの活用による不登校の防止 ・副籍交流及び共同学習の実施・充実	・空き時間の教員をエンカレッジ当番として配置 ・エンカレッジルームの児童・保護者への理解啓発	・年度初め、年度終わりの全学年の保護者会でエンカレッジルームを紹介											

	〈地域を生かした教育の推進〉 〇地域の自然や人材を活用した教育活動の実施	・ＰＴＡと協働した鹿骨東小ふるさと学習プログラム…各学年１回 ・地域を活用した学習…各学年年1回 ・学校応援団の活用	・児童アンケートで地域の人や自然の良さを感じる児童９割												
不登校・いじめ対応の充実	〇いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	・いじめ未然防止授業…各学期１回以上 ・いじめ防止「東っこ行動宣言」の作成掲示…通年 ・SOSの出し方指導…５年生年１回 ・いじめ・体罰防止の校長講話、児童アンケート…年３回 ・学校いじめ防止基本方針の全体共有…年３回 ・SCの全員面接…5学年 ・ＳＳＷの活用…全学年 ・「学級SNSルール」「東小子どもルールブック」「東小家庭学習の手引き」「東小家庭学習がんばりカード」の作成と活用…年３回 ・情報モラルについての学習…各学年１回以上 ・挨拶マスター、学年単位のあいさつ運動…年２回	・いじめの早期解決。継続０％。 ・不登校継続数、昨年度比減少 ・児童アンケートで地域や学校で挨拶をしているかについて肯定的な回答が９割												
	〇チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・生活指導夕会による情報共有…毎週金曜日	・不登校児童とＳＣ、ＳＳＷ連携率100％												
	〇L-GateやhypaerQ-Uの活用	・L-Gateを朝学活で活用。別室指導、自宅学習の児童も活用できるようにする。 ・ハイパーQ-Uテストの実施・分析、報告会…年2回	・L-GateやTeams等の活用により、担任と繋がる児童100％。 ・学校満足度調査（Ｑ‐Ｕ）による満足群の割合が全国平均を超える学級９割												
学校（園）の実現 地域社会に開かれた	＜自校の取組の積極的な発信＞ 〇学校ホームページの充実等・tetoruを使った情報の発信 〇学校公開の実施・充実	・学校だより、学校日記などの適宜更新。 ・tetoruによる情報発信 ・学校公開、年３回の実施	・保護者アンケートで、学校は保護者に適宜情報を発信していると思うかについて肯定的な回答８割												
	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・年3回の学校評議員会の開催、年2回の学校関係者評価の実施 ・年末年始に次年度の改善事項について管理職・教員らで検討	・学校評議委員による学校評価で肯定的な回等８割 ・教員アンケートで昨年度の反省が生かされているに肯定的な回答8割												
教育の展開 特色ある	〈小中連携教育の推進〉 〇「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・連携教育プログラムに基づいた小中の授業協議…年３回 ・うち６年生の体験授業・部活体験の実施連携…年1回	・児童アンケートで中学生になることに希望をもつ児童（６年）９割												
	＜ＳＤＧｓ教育の充実＞ 〇持続可能な社会を創造することを目指す教育活動の実施	・もったいない運動の取組実施全学年 ・環境を考える学習：各学年1回以上 ・6年生のＳＤＧｓ実践及び発表…年1回	・児童アンケートでもったいない運動への参加に肯定的な回答8割												